

## 【 第24回 世界学生選手権 】

2018年7月30日～5日

開催国：クロアチア・都市：リエカ

### 試合結果報告 8月3日（金）

JPN(日本)	VS	KOR(韓国)
<b>16</b>	前半	<b>12</b>
<b>13</b>	後半	<b>11</b>
	第一延長	
	第二延長	
<b>29</b>	合計	<b>23</b>

#### 個人得点

No.	名前	前半	後半	合計
1	中村 匠	-	-	-
2	田中 圭	0	0	0
3	田中 大介	2	0	2
4	水町 孝太郎	2	0	2
5	瀧澤 尚也	0	0	0
6	山口 勇樹	2	1	3
7	牧野 イサム	1	0	1
9	庄子 直志	1	1	2
10	川島 悠太郎	3	1	4
11	堀 広輝	1	1	2
12	岡本 大亮	-	-	-
13	小澤 基	1	2	3
14	後藤 悟	2	4	6
15	北詰 明未	1	3	4
	<b>合計</b>	<b>16</b>	<b>13</b>	<b>29</b>

#### 戦評

グループステージ4戦目は韓国との対戦。日本の攻撃から始まり、北詰の豪快なミドルで先制すると続いて川島の速攻による得点で2連取し、幸先の良い出だしとなる。対する韓国もパク・グァンスンを中心に得点を重ね、10分過ぎまで4-5と拮抗した展開となる。しかし、韓国の2分間退場をきっかけに後藤、山口、牧野の得点で4連取し、流れをつかむ。そこから互いに点の取り合いとなるが、20分過ぎに小澤、水町、川島、堀の得点で5連取し、一気に突き放す。前半残り3分、日本の2分間退場を機に2連取されるものの16-12で折り返す。

後半に入っても日本は攻撃の手を緩めることなく、35分過ぎには北詰、小澤の4連取で、この試合最大の6点差とする。ここから点の取り合いになるが要所で体を張ったGK・岡本のファインセーブ、そして日本のアグレッシブなDFが機能し、OF面では牧野、小澤を中心に上手く時間をコントロールし、優位に試合が進む。最終的には29-23で快勝した。

勝敗数で日本、韓国、ルーマニアが並んだ結果となったが、対戦間の総得点で日本が韓国を上回り、グループA1位通過となった。明日はホームのクロアチアとの一戦となり、完全アウェイとなるが、全力で立ち向かって行く。

報告記入者：

豊田 賢治